



四季の風

今できることを…

今年も起きた夏の自然災害。同じ広島県でもあり多くの生徒の皆さんの思いを受けてか、生徒会執行部の募金活動への思いはすぐに固まり、先週の週末2日間で行われました。執行部全員が早朝から呼びかけると、一度教室に上がった生徒も、もう一度降りてきて募金する姿もありました。皆さんの善意をととても嬉しく思っています。集まった**義援金34,928円**は、赤十字を通じて被災地に届けられることを報告しておきます。

9日(月)に警報が明けると、東京のある中学校の校長先生から「広島は数年前にも甚大な被害が出て、また… 心痛めています。本校は19日に駅前募金活動を行います。大阪北部地震の義援金としていましたが、今日急遽大雨による被災地への義援金の募金といたしました。赤十字に送らせていただきますが、うまく広島に送られるといいのですが。何か私たちにできることがあれば何なりと教えてください…」と、メールが届きました。嬉しい心遣いです。幸い廿日市は人災を逃れたことを報告しましたが、あの惨状、そしてこの猛暑の中のライフラインの停止は想像を絶するもので、気持ちは校長先生とまったく同じです。今私にできることをせめてと思い募金させていただきました。

先週県立学校は、多くが臨時休業でしたが、その間本校に来たある生徒は「二日間災害ボランティアに行きました」と言っていました。誰に言われたでもない、自分一人で行ったと聞き、その行動力にも感心しました。

今できること、それはこうした直接の行動もありますが、それがかなわないとしたら、当たり前前にできていることに感謝し、水や電気、そして食料を大切にすることも違うのではないのでしょうか…。



県選初陣報告！

災害の影響で多くの種目において開催日が変わりました。この連休で剣道と女子テニス団体が行われ、選手の皆さんには申し訳なかったのですが、応援に行くことを自粛しました。結果は善戦健闘とのこと。後陣は男子テニス個人、女子卓球個人、そして女子バスケット **ファイト!!!**

“ふるさと学習”から

皆さんは「あなたのふるさとはどこですか？」と聞かれたら、どう応えますか？ 東京の校長先生が心配してメールを下されたのは、私が参加した会議で、カーブやサンフレッチェ、宮島や平和公園…など広く「広島」を語って自己紹介したからだと思います。生徒の皆さんもこのように、どのような場面でふるさとを紹介する時が来るかは分かりません。その時にはぜひ、生まれ育ったここ四季が丘・宮園、廿日市、広島、そして海外においては日本について、誇りを持って語れる人になっておいてほしいと思います。

今1年生は、9月の自然文化体験学習の事前学習に取り組んでいます。その様子が「廿日市市教委だより」に次のように紹介されました。

ふるさと廿日市及び周辺地域の自然文化に親しもう ～四季が丘中ふるさと学習～

「吉和での体験学習を、廿日市市のまちづくりについて学ぶ機会にできないだろうか。」と考えた四季が丘中学校では、1学年で宮島と吉和について調べる学習を行うことにしました。

生徒達がこの2つの地域の共通点と相違点に気付き、廿日市市のまちづくりを理解するために、どのように学習を進めていくか、計画段階から1学年担当の先生方と廿日市市の様々な課と連携を図ってきました。

6月20日(水)、1年生の総合的な学習の時間において、キャリア教育デザイナーの大野圭司さん(株式会社ジブノオト)がゲストティーチャーとして授業に参加し、地域を知るためのインタビューの仕方を生徒達に伝えました。地域を知るために大切なことは、「あるく・みる・きく」。そして、インタビューのコツは、「目・うなずき・オウム返し」です。



ゲストティーチャーによる授業の様子

この3つのポイントをおさえて、授業の後半、生徒達はインタビューの内容を考え、友達と練習を行いました。どのようなことを聞けばよいか悩みながらも、笑顔で尋ねたり答えたりする姿が印象的でした。



インタビューの練習の様子

生徒の感想【6月20日の授業を受けて】
 ・インタビューをするのは意外と難しく思ったけど、慣れたらおもしろいと思う。
 ・外国人にインタビューをしたいので、英語でより伝わるようにしたい。



宮島でのインタビューの様子

インタビュー実践第1回目は、6月28日(木)の宮島校外学習でした。初めて出会う人達に声をかける難しさを感じながらのインタビューとなりましたが、吉和の学習につながる大事な第一歩となりました。

本校では、今年はこのように色々な行事を教科や総合的な学習の時間などと関連させて「カリキュラム・マネジメント」に取り組んでいます。生徒の皆さんの学びが益々「深い学び」となるよう、先生方も色々工夫してくれています。

修学旅行や文化祭などにおいても同様に取り組んでいきますので、教科学習で学んでいることを広く活用する力を身に付けていって下さい。